

## 議会運営委員会の概要

### 1 2月定例会追加提出案件の概要について

・総務部長から、別紙「平成30年2月定例会追加提出案件」により説明があり、了承された。

### 2 討論の通告について

・議事調査課長から、渡辺ゆり子議員から別紙「発言通告書」のとおり通告があった旨の説明があり、協議の結果、討論時間は5分以内と決定された。

### 3 議事日程第7号について

・議事調査課長から、別紙「会議順序表」により本日の議事日程等の説明があり、了承された。

### 4 本日の常任委員会の出席要求対象者について

・議事調査課長から、本日の本会議終了後の常任委員会における執行部の出席者については、関係者のみの出席としてはいかがかとの説明があり、了承された。

### 5 平成29年度広報・広聴委員会報告書について

・議長から、3月13日に広報・広聴委員会の正副委員長から、別冊「平成29年度広報・広聴委員会報告書」のとおり報告があったとの発言があり、重ねて、今年度の活動を評価するとともに、来年度も「身近な県議会」を目指した広報・広聴の充実に向けた検討をお願いしたい旨発言があった。

### 6 その他

#### (1) 「平成31年度政府の施策等に対する提案」の進め方について

・企画振興部長から、別紙「平成31年度政府の施策等に対する提案」の進め方につ

いて」により説明があり、了承された。

## **7 次回議運開催日時**

3月15日（木） 午前10時

## **8 本日の開議時刻**

議会運営委員会終了後、直ちに開議することが決定された。

# 議 会 運 営 委 員 会 協 議 事 項

平成 30 年 3 月 14 日 (水)

午 前 10 時

- 1 2 月定例会追加提出案件の概要について
- 2 討論の通告について
- 3 議事日程第 7 号について
- 4 本日の常任委員会の出席要求対象者について
- 5 平成 29 年度広報・広聴委員会報告書について
- 6 その他
- 7 次回議運開催日時  
3 月 15 日 (木) 午前 10 時
- 8 本日の開議時刻

(平成30年 3月14日 議会運営委員会資料)

## 平成30年2月定例会追加提出案件

### 予算案件（繰越明許費）

○平成29年度山形県一般会計補正予算（第6号）

繰越明許費の補正	追加	1,865,411千円
	変更	5,060,964千円
		<hr/>
	合計	6,926,375千円

【参考】繰越明許費補正後累計 36,431,973千円

○平成29年度山形県流域下水道事業特別会計補正予算（第4号）

繰越明許費の補正	変更	132,212千円
----------	----	-----------

【参考】繰越明許費補正後累計 433,704千円

○繰越明許費補正後累計（一般会計と特別会計の合計額）

36,904,057千円

平成30年3月13日

山形県議会議長 殿

山形県議会議員 渡辺 ゆり子



## 発言通告書

今回の県議会において次のとおり発言したいので通告します。

発言の種別	質疑 一般質問 討論 (賛成・ <u>反対</u> )	一身上の弁明
発言の趣旨	答 弁 者	
<p>議案50号 山形県特別職の職員の給与等の支給に関する条例等の一部を改正する条例の設定について。</p> <p>議案51号 知事等及び職員の給与の特例に関する条例を廃止する条例の設定について。</p> <p>議案52号 知事等及び職員の給与の特例に関する条例の設定について。</p> <p>反対する。</p> <p>理由</p> <p>経済格差は広がり働く人の実賃賃金の低下が続いている。さらに社会保障制度の改定により県民負担増が懸念される現状である。</p> <p>そのもとで特別職の給与等引き上げと関連する議案について県民の理解は得られない。</p>		

# 会 議 順 序 表

[議事日程第7号]

平成30年3月14日(水)

	会 議 ・ 議 事 順 序	採決方法															
1	○ 議会運営委員会 (議事日程第7号、その他)																
	< 開 議 >																
2	○ 諸般の報告 (追加議案の送付)																
3	○ 議案及び請願上程 (議第31号から議第95号までの65議案及び請願) ○ 常任委員長報告 文 教 公 安 常任委員長 厚 生 環 境 常任委員長 農 林 水 産 常任委員長 商工労働観光 常任委員長 建          設 常任委員長 総          務 常任委員長 ○ 討論 11番 渡 辺 ゆり子 議員 ○ 議案採決 (1) 議第50号から議第52号までの3議案 (2) (1)を除く62議案 ○ 請願の継続審査等について	起 立 簡 易 簡 易															
4	○ 追加議案上程 (議第96号及び議第97号の2件) ○ 知事説明 ○ 関係常任委員会付託  < 散 会 >																
5	○ 本会議終了後の日程 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 5px;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">時 間</th> <th style="width: 35%;">委 員 会 名</th> <th style="width: 35%;">場 所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center; vertical-align: middle;">本 会 議 終 了 後</td> <td>総務常任委員会</td> <td>第1委員会室</td> </tr> <tr> <td>厚生環境常任委員会</td> <td>第6委員会室</td> </tr> <tr> <td>農林水産常任委員会</td> <td>第5委員会室</td> </tr> <tr> <td>建設常任委員会</td> <td>第3委員会室</td> </tr> <tr> <td>関係常任委員会終了後</td> <td>政策提言会議</td> <td>予算特別委員会室</td> </tr> </tbody> </table>	時 間	委 員 会 名	場 所	本 会 議 終 了 後	総務常任委員会	第1委員会室	厚生環境常任委員会	第6委員会室	農林水産常任委員会	第5委員会室	建設常任委員会	第3委員会室	関係常任委員会終了後	政策提言会議	予算特別委員会室	
時 間	委 員 会 名	場 所															
本 会 議 終 了 後	総務常任委員会	第1委員会室															
	厚生環境常任委員会	第6委員会室															
	農林水産常任委員会	第5委員会室															
	建設常任委員会	第3委員会室															
関係常任委員会終了後	政策提言会議	予算特別委員会室															

## 議 事 日 程 ( 第 7 号 )

平成30年3月14日(水) 午前10時開議

- |      |       |   |
|------|-------|---|
| 第 1  | 議第31号 | 平成30年度山形県一般会計予算   |
| 第 2  | 議第32号 | 平成30年度山形県公債管理特別会計予算   |
| 第 3  | 議第33号 | 平成30年度山形県市町村振興資金特別会計予算                                      |
| 第 4  | 議第34号 | 平成30年度山形県母子父子寡婦福祉資金特別会計予算                                   |
| 第 5  | 議第35号 | 平成30年度山形県国民健康保険特別会計予算                                       |
| 第 6  | 議第36号 | 平成30年度山形県小規模企業者等設備導入資金特別会計予算                                |
| 第 7  | 議第37号 | 平成30年度山形県土地取得事業特別会計予算                                       |
| 第 8  | 議第38号 | 平成30年度山形県農業改良資金特別会計予算                                       |
| 第 9  | 議第39号 | 平成30年度山形県沿岸漁業改善資金特別会計予算                                     |
| 第 10 | 議第40号 | 平成30年度山形県林業改善資金特別会計予算                                       |
| 第 11 | 議第41号 | 平成30年度山形県流域下水道事業特別会計予算                                      |
| 第 12 | 議第42号 | 平成30年度山形県港湾整備事業特別会計予算                                       |
| 第 13 | 議第43号 | 平成30年度山形県電気事業会計予算   |
| 第 14 | 議第44号 | 平成30年度山形県工業用水道事業会計予算  |
| 第 15 | 議第45号 | 平成30年度山形県公営企業資産運用事業会計予算                                     |
| 第 16 | 議第46号 | 平成30年度山形県水道用水供給事業会計予算                                       |
| 第 17 | 議第47号 | 平成30年度山形県病院事業会計予算   |
| 第 18 | 議第48号 | 山形県職員等に対する退職手当支給条例等の一部を改正する条例の設定について                        |
| 第 19 | 議第49号 | 特別職の職員に対する退職手当支給条例の一部を改正する条例の制定について                         |
| 第 20 | 議第50号 | 山形県特別職の職員の給与等の支給に関する条例等の一部を改正する条例の設定について                    |
| 第 21 | 議第51号 | 知事等及び職員の給与の特例に関する条例を廃止する条例の設定について                           |
| 第 22 | 議第52号 | 知事等及び職員の給与の特例に関する条例の設定について                                  |
| 第 23 | 議第53号 | 山形県手数料条例の一部を改正する条例の制定について                                   |
| 第 24 | 議第54号 | 山形県議会議員及び山形県知事の選挙における選挙運動用自動車の使用等の公営に関する条例の一部を改正する条例の制定について |
| 第 25 | 議第55号 | 山形県事務処理の特例に関する条例の一部を改正する条例の制定について                           |
| 第 26 | 議第56号 | 山形県自然環境保全条例の一部を改正する条例の制定について                                |
| 第 27 | 議第57号 | 旅館業法施行条例の一部を改正する条例の制定について                                   |
| 第 28 | 議第58号 | 山形県獣医師修学資金貸与条例の一部を改正する条例の制定について                             |
| 第 29 | 議第59号 | 山形県安心こども基金条例の一部を改正する条例の制定について                               |
| 第 30 | 議第60号 | 山形県国民健康保険広域化等支援基金条例等を廃止する条例の設定について                          |

- 第 31 議第61号 山形県後期高齢者医療財政安定化基金条例の一部を改正する条例の制定について
- 第 32 議第62号 山形県国民健康保険財政安定化基金条例の一部を改正する条例の制定について
- 第 33 議第63号 山形県国民健康保険運営協議会条例の一部を改正する条例の制定について
- 第 34 議第64号 山形県地域自殺対策緊急強化基金条例の一部を改正する条例の制定について
- 第 35 議第65号 山形県看護職員修学資金貸与条例の一部を改正する条例の制定について
- 第 36 議第66号 医療法施行条例の一部を改正する条例の制定について
- 第 37 議第67号 みんなで取り組む健康長寿県やまがた推進条例の設定について
- 第 38 議第68号 山形県介護医療院の人員、施設及び設備並びに運営に関する基準を定める条例の設定について
- 第 39 議第69号 山形県指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例を廃止する条例の設定について
- 第 40 議第70号 山形県指定居宅サービス等の事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例の制定について
- 第 41 議第71号 山形県指定介護予防サービス等の事業の人員、設備及び運営並びに指定介護予防サービス等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例の制定について
- 第 42 議第72号 山形県介護老人保健施設の人員、施設及び設備並びに運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について
- 第 43 議第73号 山形県指定介護療養型医療施設の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について
- 第 44 議第74号 山形県児童福祉施設の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について
- 第 45 議第75号 山形県指定通所支援の事業等の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例の制定について
- 第 46 議第76号 山形県指定障害児入所施設等の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例の制定について
- 第 47 議第77号 山形県指定障害福祉サービスの事業等の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例の制定について
- 第 48 議第78号 山形県指定障害者支援施設の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例の制定について
- 第 49 議第79号 山形県障害福祉サービス事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について
- 第 50 議第80号 山形県産業創造支援センター条例の一部を改正する条例の制定について
- 第 51 議第81号 山形県工業技術センター手数料条例の一部を改正する条例の制定について
- 第 52 議第82号 山形県文化基本条例の設定について
- 第 53 議第83号 山形県総合文化芸術館条例の設定について
- 第 54 議第84号 山形県主要農作物種子法の実施に関する条例を廃止する条例の設定について
- 第 55 議第85号 山形県営土地改良事業分担金徴収条例の一部を改正する条例の制定について



- |      |       |  |
|------|-------|--|
| 第 56 | 議第86号 | 山形県屋外広告物条例の一部を改正する条例の制定について                                |
| 第 57 | 議第87号 | 山形県都市公園条例の一部を改正する条例の制定について                                 |
| 第 58 | 議第88号 | 山形県道路占用料徴収条例の一部を改正する条例の制定について                              |
| 第 59 | 議第89号 | 山形県空港管理条例の一部を改正する条例の制定について                                 |
| 第 60 | 議第90号 | 山形県立学校職員及び市町村立学校職員給与負担法に規定する学校職員の定数に関する条例の一部を改正する条例の制定について |
| 第 61 | 議第91号 | 風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律施行条例の一部を改正する条例の制定について               |
| 第 62 | 議第92号 | 山形県病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について                         |
| 第 63 | 議第93号 | 包括外部監査契約の締結について  |
| 第 64 | 議第94号 | 県が売買契約を締結した土地の所有権に係る訴え提起前の和解について                           |
| 第 65 | 議第95号 | 県が売買契約を締結した土地の所有権に係る訴え提起前の和解について                           |
| 第 66 | 請願    |  |
| 第 67 | 議第96号 | 平成29年度山形県一般会計補正予算（第6号）                                     |
| 第 68 | 議第97号 | 平成29年度山形県流域下水道事業特別会計補正予算（第4号）                              |

# 継 続 審 査 請 願 審 査 結 果 一 覧 表

平成30年2月定例会

区分	番号	受理年月日	関係委員会	件名	提出者	紹介議員	審査結果	措置
請願	7	27.6.22	厚生環境	年金積立金の安全かつ確実な運用に関する意見書の提出について	山形市木の実町12番37号 日本労働組合総連合会山形県連合会 会長代行 小口 裕之	青柳、石黒、金子、 高橋、広谷	撤回	
〃	15	27.12.21	厚生環境	山形県立保健医療大学への柔道整復学科の設置について	米沢市泉町1-1-34 協同組合日本接骨師会山形県接骨師会 会長 吉田 謙悟	菊池	継続審査	
〃	27	29.6.20	農林水産	農業者戸別所得補償制度の復活を求める意見書の提出について	山形市大字門伝字裏城1番地 農民運動山形県連合会 会長 小林 茂樹	関、渡辺	継続審査	
〃	32	29.9.21	総務	地方財政の充実・強化を求める意見書の提出について	山形市木の実町12番37号 日本労働組合総連合会山形県連合会 会長代行 小口 裕之	松田、青木、青柳、 吉村、高橋、広谷	撤回	

付託委員会	件数	審査結果			
		採択	不採択	継続審査	撤回
総務	1				1
厚生環境	2			1	1
農林水産	1			1	
計	4			2	2

## 常 任 委 員 会 付 託 表

(平成30年2月定例会)

委員会名	件 名
総 務	議第96号 平成29年度山形県一般会計補正予算（第6号）中 1 第1条第1表 繰越明許費補正 1 追加中 第2款総務費
厚生環境	議第96号 平成29年度山形県一般会計補正予算（第6号）中 1 第1条第1表 繰越明許費補正 1 追加中 第3款民生費
農林水産	議第96号 平成29年度山形県一般会計補正予算（第6号）中 1 第1条第1表 繰越明許費補正 1 追加中 第6款農林水産業費、 第11款災害復旧費 2 変更中 第6款農林水産業費
建 設	議第96号 平成29年度山形県一般会計補正予算（第6号）中 1 第1条第1表 繰越明許費補正 1 追加中 第8款土木費 2 変更 中 第8款土木費 議第97号 平成29年度山形県流域下水道事業特別会計補正予算（第4号）

平成 29 年度

山形県議会広報・広聴委員会報告書

平成 30 年 3 月 13 日

山形県議会広報・広聴委員会

## 目 次

1	協議の経過及び結果について（概要）	1
2	平成29年度議会広報・広聴事業実績	4
3	平成30年度議会広報・広聴事業計画	8
4	山形県議会広報・広聴委員会名簿	10

### (参考資料)

○	平成29年度議場演奏会と議会見学会 参加者アンケートとりまとめ結果について	11
○	平成29年度生徒学生と県議会議員との意見交換会 の実施状況について	15

## 1 協議の経過及び結果について（概要）

山形県議会広報・広聴委員会は、県議会の活動状況を広く県民に伝えるとともに、県民の声を広く聴き、一層、県民に県議会を身近に感じてもらう方策を検討するため、7回の委員会を開催した。

委員会では、新たな取組みである「県議会ギャラリー」の実施方法、若者向け広報紙「県議会ナビ」の編集内容、「議場演奏会と議会見学会」の開催内容、テレビ広報番組の企画・構成、「生徒・学生と県議会議員との意見交換会」の実施方法等について協議を重ねながら、以下のとおり広報・広聴事業を実施したほか、来年度事業の方針等を検討した。

### ① 「県議会だより」の発行について

全戸配布の広報誌「県民のあゆみ」との合冊編集としている「県議会だより」については、議会活動の基本的な情報を県民に伝えることを念頭に、年6回発行した。（約40万部／回）

### ② 「県議会やまがた」の発行について

定例会の質疑と答弁の概要など議会活動の詳細な情報を提供する「県議会やまがた」については、県民に議会に対する理解を深めてもらうことを念頭に、年4回発行した。（3,500部／回）

### ③ 若者向け広報紙「県議会ナビ」の発行について

若者向け広報紙「県議会ナビ」については、若者が興味を持てるような紙面とすることを念頭に、山形大学の学生の協力を得て、第2号を10月に発行し県内の高校生等に配布した。（4万部）

### ④ 「議場演奏会と議会見学会」の実施について

「議場演奏会と議会見学会」については、県民に県議会を身近に感じてもらう契機となることを念頭に、10月に、議場の見学や予算特別

委員会の傍聴、県議会の仕組みや役割についての説明と併せて、議場における山形交響楽団による演奏会を催した。

なお、参加者アンケートの結果によると、満足度が高く、8割の方が再度の参加を希望している状況であった。

⑤ 「県議会ギャラリー」の提供について

「県議会ギャラリー」については、今年度からの新たな取組みとして、より多くの県民から県議会へ足を運んでもらう機会を設けるとともに、県民、特に若者に県議会を身近に感じてもらい、県議会に対する理解と関心を深めてもらうことを念頭に、県内の児童・生徒・学生の文化活動の展示スペース「県議会ギャラリー」を提供した。（5回）

⑥ 「県議会ホームページ」について

議会活動の詳細な情報を県民に伝えるため、「県議会ホームページ」において、定例会や常任委員会等の概要、会議録、議会トピックス等を掲載したほか、議会中継を配信した。

⑦ 「県議会テレビ広報番組」の制作について

県広報番組の枠を活用して、県議会の活動状況を広く県民に発信するため、第1回目「県議会に若者のアイデアを！」（平成29年9月3日放送）と第2回目「もっと、もっと身近な県議会！」（平成30年2月10日放送）を制作し放送した。

⑧ その他の広報

上記以外の広報として、県議会を広く知ってもらうため、県議会議事堂の見学に訪れる県民に「県議会のしおり」を配布し、視覚障がいのある方には点字版の「県議会のしおり」を配布した。

また、平成29年2月定例会で議員発議により制定した「山形県手話言語条例」を普及啓発するため、パンフレットを作成し、関係機関等に配布した。

⑨ 「生徒・学生と県議会議員との意見交換会」の開催について

平成27年度の試行を踏まえ、28年度から本格実施している「生徒・学生と県議会議員との意見交換会」については、若者が県議会を身近に感じ、主権者としての政治参加意識の醸成が図られることを念頭に、12校の高等学校・大学等で開催した。

なお、出席した議員数は延べ59人、参加した生徒・学生数は168人であった。意見交換会では、県に対する要望も出され、その後、常任委員会において執行部の取組みを促す質問に結びついたものもある。

以上、多岐にわたり県議会の活動に関する広報及び広聴の充実に努め、特に、公職選挙法の改正による選挙権年齢の引下げを踏まえ、高校生等の若者に県議会を身近に感じてもらい、主権者としての政治参加意識の醸成を図るための取組みを展開してきたところである。

先の衆議院議員選挙では、本県の10代の投票率が全国一位となったところであり、本県議会のこれまでの取組みがその一助となったものと確信するところである。

今後とも、「身近な県議会」を目指し、県民に対して積極的に議会活動に関する情報を提供していくとともに、県民の意思を把握していくため、広い角度からさらに調査・検討を深めていくことを希望するものである。



## 2 平成 29 年度議会広報・広聴事業実績

### 1 広報誌等

#### (1) 「県議会だより」の発行

県民に議会活動の概要を伝えるため、年 6 回発行し、県広報誌「県民のあゆみ」に合冊して全戸配布（約40万部）した。

号	発行日	主な掲載内容
第60号	平成29年 5 月 1 日	平成29年 2 月定例会の概要
第61号	平成29年 7 月 1 日	常任委員会の活動状況
第62号	平成29年 9 月 1 日	平成29年 6 月定例会の概要
第63号	平成29年11月 1 日	平成29年 9 月定例会の概要
第64号	平成30年 1 月 1 日	決算特別委員会及び地域議員協議会の概要
第65号	平成30年 3 月 1 日	平成29年12月定例会の概要

#### (2) 「県議会やまがた」の発行

県民に議会活動を詳細に伝えるため、定例会ごとに年 4 回・各3,500部発行し、市町村、県内主要団体、NPO法人、大学・短大等へ配布した。

号	発行月	主な掲載内容
第17号	平成29年 5 月	平成29年 2 月定例会の概要
第18号	平成29年 8 月	平成29年 6 月定例会の概要
第19号	平成29年11月	平成29年 9 月定例会の概要
第20号	平成30年 2 月	平成29年12月定例会の概要

#### (3) 若者向け広報紙「県議会ナビ」の発行

選挙権年齢が引き下げられたことを踏まえ、有権者となり得る高校生を中心とした若者に県議会を身近に感じてもらい、県議会に対する興味を持ってもらうことを目的として、若者向け広報紙「県議会ナビ」を40,000部発行し、県内の高等学校及び特別支援学校高等部の全生徒・教員に配布したほか、大学・短大等へ配布した。

発行月	主な掲載内容
平成29年10月	県議会の概要、議長インタビュー、県議会活動のトピック、選挙啓発出前講座、生徒・学生との意見交換会の概要

#### (4) パンフレットの作成・配布

##### ①「県議会のしおり」の配布

議会の役割、活動内容の周知を図るため、「県議会のしおり」を議事堂見学者等に配布した。

また、昨年度、視覚障がいのある方向けに作成した点字版「県議会のしおり」についても、議事堂見学者への配布や県議会ギャラリーに備え付けるなどして活用した。

## ② 政策条例のパンフレットの作成・配布

平成29年2月定例会で可決し、平成29年3月21日に施行された「山形県手話言語条例」を普及啓発するため、パンフレットを作成し、関係機関等に配布した。

## 2 議場演奏会と議会見学会

県民に県議会を身近に感じてもらい、県議会に対する理解と関心を深めてもらうことを目的として、「議場演奏会と議会見学会」を開催した。

参加者アンケートの結果によると、満足度が高く、8割の方が再度の参加を希望している状況であった。

(開催概要)

- ・開催日 平成29年10月3日
- ・参加人数 104人
- ・実施内容 議場見学、予算特別委員会の傍聴、県議会の概要説明、議場における山形交響楽団による弦楽合奏の鑑賞

## 3 県議会ギャラリー

より多くの県民から県議会へ足を運んでもらう機会を設けるとともに、県民、特に若者に県議会を身近に感じてもらい、県議会に対する理解と関心を深めてもらうことを目的として、県内の児童・生徒・学生の文化活動の展示スペース「県議会ギャラリー」を提供した。

展示期間	展示校等
平成29年9月26日 ～10月11日	山形盲学校、山形養護学校、ゆきわり養護学校
平成29年11月6日 ～11月30日	夏の省エネ川柳・標語・ポスターコンテスト ～やまがたエコスマイルコンテスト～
平成29年12月1日 ～12月22日	平成29年度土砂災害防止に関する絵画・作文 平成29年度河川等安全利用に関する絵画 入賞作品
平成30年1月25日 ～2月28日	山形聾学校、村山特別支援学校（本校、山形校、天童校）、上山高等養護学校
平成30年3月5日 ～4月5日	白鷹高等専修学校

## 4 インターネット

### (1) 県議会ホームページの運営

定例会・各常任委員会・3特別委員会・議会運営委員会の概要、地域議員協議会の内容など、議会の動きをわかりやすい内容でタイムリーに掲載した。

## (2) 議会インターネット中継の配信

県議会のホームページ上で、「本会議」、「予算特別委員会」、「決算特別委員会」の生中継及び録画中継を配信した。

## (3) 会議録検索システムによる会議情報の提供

会議録検索システムに「本会議」、「予算特別委員会」、「決算特別委員会」の会議録を登録し、県議会ホームページ上で、会議録の検索、閲覧、印刷、ダウンロードをできるようにした。

## (4) ツイッター、フェイスブックの活用

山形県公式ツイッター、フェイスブックを活用し、定例会の日程告知、傍聴案内、「議場演奏会と議会見学会」の開催案内等の情報を提供した。

# 5 県議会テレビ広報番組（県政広報番組枠の活用）

## (1) YBC「やまがたサンデー5」 15分番組×2回

第1回	県議会に若者のアイデアを！	平成29年9月3日（日） 17:15～17:30 放映
第2回	もっと、もっと身近な県議会！	平成30年2月10日（土） 16:45～17:00 放映

## (2) 県政広報番組を活用した定例会の告知

県政広報番組の告知枠を利用し、各定例会の日程と傍聴案内を行った。

# 6 総合支庁における議会中継

各総合支庁・地域振興局ロビーにおいて、「本会議」、「予算特別委員会」、「決算特別委員会」の中継を実施した。

# 7 報道機関（パブリシティ）の活用

生徒・学生との意見交換会、議場演奏会と議会見学会、地域議員協議会の実施等について、県庁記者クラブへ情報を提供した。

# 8 広聴事業（生徒・学生と県議会議員との意見交換会）

生徒・学生に県議会を身近に感じてもらい、主権者としての政治参加意識の醸成を図ることを目的として、「生徒・学生と県議会議員との意見交換会」を12回開催した。出席した議員は、正副議長、広報・広聴委員を中心に1校につき5人程度で延べ59人であり、参加した生徒・学生は168人であった。

意見交換会では、若者の政治参加だけでなく、議会・議員や県の施策に関することについても意見が交わされたほか、部活動での研究内容のプレゼンテーション等も行われた。また、特別支援学校との意見交換会において、冷暖房の運用に関する要望が出され、関係する常任委員会において執行部の取組みを促す質問に結び付いた事例があった。

## (開催概要)

開催日	学校名（所在地）	出席 議員数	参加 者数
平成29年5月11日	山形電波工業高等学校（天童市）※	5人	11人
平成29年6月8日	山形市立商業高等学校（山形市）※	5人	20人
平成29年7月12日	羽黒高等学校（鶴岡市）	5人	10人
平成29年7月18日	白鷹高等専修学校（白鷹町）	5人	9人
平成29年10月30日	左沢高等学校（大江町）	5人	8人
平成29年11月6日	東北公益文科大学（酒田市）	5人	14人
平成29年11月21日	山形養護学校（山形市）	5人	9人
平成29年11月21日	山形大学（山形市）	5人	14人
平成29年11月30日	鶴岡工業高等専門学校（鶴岡市）	5人	14人
平成29年12月1日	東北文教大学（山形市）	4人	15人
平成29年12月14日	山形城北高等学校（山形市）※	5人	19人
平成29年12月25日	山形工業高等学校（山形市）	5人	25人

※印の学校は意見交換会を議会棟で開催し、それ以外は各学校で開催した。

## (参考) 常任委員会等における関係団体との意見交換会等の状況

常任委員会の県内現地調査等において関係団体との意見交換等を実施した。

常任・特別委員会名	意見交換等の相手方	開催日
総務	地域おこし協力隊	5月30日
文教公安	交通ボランティア	5月26日
厚生環境	アクセルリンク米沢（学生サークル）	5月23日
	各県立病院長	10月25日
	一般社団法人山形県浄化槽工業協会	12月19日
	山形県小規模授産施設・共同作業所連絡協議会	1月25日
	一般社団法人山形県老人クラブ連合会	2月26日
農林水産	山形県漁業協同組合	11月1日
商工労働観光	黒川能上座・下座	11月21日
建設	一般社団法人西村山建設業協会	6月5日
子ども・若者支援策	山形大学学術研究院学士課程基盤教育機構 准教授 加納 寛子 氏	9月29日
県土強靱化・危機管理策	宮城県総務部危機対策課 危機対策企画専門監 松平 幸雄 氏	10月10日
産業振興・雇用策	山形大学人文社会科学部 准教授 坂本 直樹 氏	9月27日

### 3 平成 30 年度議会広報・広聴事業計画

#### 1 広報誌等

##### (1) 「県議会だより」の発行（県広報誌「県民のあゆみ」との合冊）

項目	「県議会だより」	「県民のあゆみ」
発行回数	年 6 回掲載 5月号〔2月定例会分〕 7月号〔企画記事〕 9月号〔6月定例会分〕 11月号〔9月定例会分〕 1月号〔企画記事〕 3月号〔12月定例会分〕	年 6 回 隔月奇数月
ページ数	各号見開き 2 ページ（1月号は 1 ページ）	各号 16 ページ
発行部数	約 40 万部（全戸配布）	同左

##### (2) 「県議会やまがた」の発行

項目	「県議会やまがた」
発行回数	年 4 回（4 定例会毎）
ページ数	各号タブロイド版 4 ページ
発行部数	3,500 部（県内市町村、主要団体等へ配布）

##### (3) 若者向け広報紙「県議会ナビ」の発行

項目	若者向け広報紙「県議会ナビ」
発行回数	年 1 回
ページ数	A 4 版見開き 4 ページ
発行部数	4 万部（県内高等学校、特別支援学校高等部（全生徒、教員）、大学・短大等へ配布）

##### (4) パンフレットの配布

議会についての理解や関心を高めるため、「県議会のしおり」等を議事堂見学者等に配布する。

#### 2 議場演奏会と議会見学会

県民に県議会を身近に感じてもらい、県議会に対する理解と関心を深めてもらうことを目的として、「議場演奏会と議会見学会」を開催する。

#### 3 県議会ギャラリー

より多くの県民から県議会へ足を運んでもらう機会を設けるとともに、県民、特に若者に県議会を身近に感じてもらい、県議会に対する理解と関心を深めてもらうことを目的として、県内の児童・生徒・学生の文化活動の展示スペース「県議会ギャラリー」を提供する。

## 4 インターネット

### (1) 山形県議会ホームページの運営

日々の議会情報の発信

議員の紹介、定例会・各常任委員会・3特別委員会・議会運営委員会の概要、地域議員協議会の内容、議会トピックスなど、詳細な議会情報を広く県民に発信する。

### (2) 議会インターネット中継の配信

県議会のホームページ上で、「本会議」、「予算特別委員会」、「決算特別委員会」の生中継及び録画中継を配信する。

### (3) 会議録検索システムによる会議情報の提供 【平成4年分から】

「本会議」、「予算特別委員会」、「決算特別委員会」の会議録全文については、検索システムにデータを格納し、ホームページから閲覧できるようにする。

### (4) フェイスブック、ツイッターの活用

山形県公式フェイスブック、ツイッターを活用し、定例会の日程告知、傍聴案内を行うほか、県議会ホームページの「トピックス」のコーナーの情報等をフェイスブック、ツイッターからも発信する。

## 5 県議会テレビ広報番組（県政広報番組枠の活用）

県政広報番組枠を活用し、議会広報番組の放映を実施する。

### (1) テレビ 県政広報テレビ15分番組による議会活動の紹介

同番組内での各定例会の会期告知等

### (2) ラジオ 「地域議員協議会」開催の告知等

## 6 総合支庁における議会中継

各総合支庁・地域振興局ロビーにおいて、「本会議」、「予算特別委員会」、「決算特別委員会」の実況中継を実施する。

## 7 報道機関（パブリシティ）、各種広報媒体の活用

報道各社に対し、議会活動の積極的な情報提供を行うほか、県広報推進課所管の広報媒体の活用や市町村等の広報媒体を活用した広報に努める。

## 8 広聴事業（生徒・学生と県議会議員との意見交換会）

生徒・学生に県議会を身近に感じてもらい、主権者としての政治参加意識の醸成を図るため、引き続き「生徒・学生と県議会議員との意見交換会」を開催する。

## 山形県議会広報・広聴委員会委員名簿

委員長	島津良平
副委員長	青木彰榮
委員	松田敏男
委員	柴田正人
委員	渋間佳寿美
委員	佐藤 聡
委員	能登淳一
委員	矢吹栄修
委員	渡辺ゆり子
委員	小松伸也

## 参 考 资 料





## 平成 29 年度 議場演奏会と議会見学会 参加者アンケートとりまとめ結果について

- ◆ 日 時 平成 29 年 10 月 3 日 (火) 午前 10 時 40 分～12 時 40 分
- ◆ 会 場 山形県議会棟 (本会議場、予算特別委員会室、第 1 委員会室)
- ◆ 参加者 104 人 (アンケート回答者数 104 人)

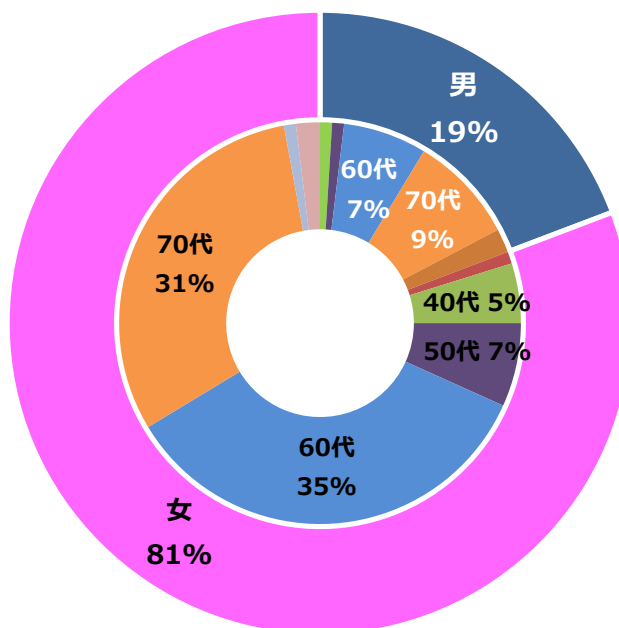
### 1 住まい

7割が村山地域から参加  
(山形市が最多で6割)

市町村名	参加者	
	(人)	(%)
村山地域	72	69.9%
山形市	63	
寒河江市	3	
天童市	5	
山辺町	1	
最上地域	24	23.3%
新庄市	1	
真室川町	23	
置賜地域	4	3.9%
米沢市	1	
南陽市	3	
庄内地域	3	2.9%
鶴岡市	3	
合 計	103	

### 2 性別・年齢

男女比は 1 : 4  
年齢構成は 60代・70代が各々 4 割ずつ



	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代	無回答	合計
男		1	1	7	9	2			20
女	1	5	7	36	32		1	2	84
合計	1	6	8	43	41	2	1	2	104

### 3 何で知ったか (複数回答)

	(人)
新聞	18
ラジオ	7
ホームページ	9
チラシ	15
知人・会社・団体等の紹介	55
その他	5

新聞記事の掲載や、市町村・団体等へのチラシ送付※が特に効果を挙げた。一方で、ラジオやホームページにも一定の効果が認められた

<チラシを見た場所>

市コミセン3、公民館、県立図書館など

※チラシを見たコミセン職員が呼び掛け、まとまった人数の応募・参加につながった例も見受けられた。

#### 4 参加した理由（複数回答）

	(人)	(%)
県議会と山響両方に興味ある	40	38.5%
県議会に興味ある	23	22.1%
山響の演奏を聴きたい	37	35.6%
その他	4	3.8%
合計	104	100.0%

6割が県議会に興味があって参加

#### 5 参加しての感想

##### (1) 議会の概要説明

9割超が時間を丁度よいと感じ、8割が満足

時間	(人)	(%)
長い	2	2.0%
丁度よい	98	96.1%
短い	2	2.0%
合計	102	100.0%

感想	(人)	(%)
大変満足	25	27.2%
満足	51	55.4%
普通	15	16.3%
やや不満	1	1.1%
合計	92	100.0%

##### (2) 議場の見学

8割超が時間を丁度よいと感じ、8割が満足

時間	(人)	(%)
長い	3	3.0%
丁度よい	87	87.9%
短い	9	9.1%
合計	99	100.0%

感想	(人)	(%)
大変満足	29	34.9%
満足	40	48.2%
普通	11	13.3%
やや不満	2	2.4%
不満	1	1.2%
合計	83	100.0%

##### (3) 予算特別委員会の傍聴

7割が時間を丁度よいと感じる一方、2割超が短いと感じている  
短いと感じた人の満足度が十分でなかったため、満足した人は6割超に留まる

時間	(人)	(%)
長い	1	1.1%
丁度よい	68	70.8%
短い	27	28.1%
合計	96	100.0%

感想	(人)	(%)
大変満足	18	21.2%
満足	37	43.5%
普通	21	24.7%
やや不満	9	10.6%
合計	85	100.0%

#### (4) 議場演奏会

7割が時間を丁度よいと感じ、9割超が満足

時間	(人)	(%)
丁度よい	68	70.1%
短い	29	29.9%
合計	97	100.0%

感想	(人)	(%)
大変満足	60	63.2%
満足	32	33.7%
普通	2	2.1%
不満	1	1.1%
合計	95	100.0%

#### 6 また参加したいか

8割が再度の参加を希望

	(人)	(%)
参加したい	82	82.8%
演奏会のみ参加したい	15	15.2%
参加したくない	2	2.0%
合計	99	100.0%

#### 7 議場演奏会と議会見学会の感想や県議会に望むこと（自由記述：延人数）

##### (1) 感想（主なもの）

##### ① 良い企画だった、勉強になった、満足した 29人

- ・ 県議会が身近に感じられる貴重な機会に感謝。
- ・ 県議会棟に入る機会がないので、いつでも見学できることがわかってよかった。
- ・ 大変よい体験になり、遠かった存在の県議会が身近になった。
- ・ 素晴らしい議会と演奏会だった。「開かれた県議会」大変良かった。
- ・ 昨年より、内容が深まったと思う。
- ・ 思った以上に、一緒に来た人達にも喜んでもらえた。
- ・ 大変有意義な時間に感謝。

##### ② 今後も実施してほしい、また参加したい 9人

- ・ このような企画（機会）がもっとあればいいと思う。
- ・ 気軽に参加できることをこれからもどんどんと提案してほしい。
- ・ 今度は、傍聴のため来場したいと思った。
- ・ 来年もぜひ来たい。
- ・ 毎年続けてほしい。

### ③ その他

#### <全般>

- ・点字ブロックを貼っていただき感謝。(同意見 1 人)
- ・質問の時間があれば、なおよかった。
- ・時間的に余裕のある計画で、見学も移動も助かり良かった。

#### <議会見学会>

- ・身近な題材の傍聴だったので、興味深く聴く事ができた。(同意見 2 人)
- ・予算特別委員会をもう少し長く傍聴したかった。(同意見 2 人)
- ・議場見学したことにより、議会が身近に感じられた。

#### <議場演奏会>

- ・山響の演奏にとっても感動した。(同意見 1 4 人)
- ・選曲がとても良かった。(同意見 3 人)
- ・演奏会がもう少し長くても良かった。(同意見 2 人)

## (2) 県議会に望むこと (主なもの)

### ① 開かれた県議会への期待 3 人

- ・身近な開かれた県議会はますます重要なことなので、頑張ってもらいたい。

### ② 県議会議員に望むこと 2 人

- ・議員の皆様には、県民のことを真剣に考え、よりよい山形県をつくってほしい。
- ・県民の生活が潤うように精進してほしい。

### ③ 県政に望むこと 5 人

- ・県民歌「最上川」を広く次世代に文化財として引き継ぐ責務があるため、県の出先機関の公用電話に「最上川」のオルゴールをセットしてほしい。
- ・若者の雇用促進や非正規労働者の正規登用などにも力を入れてほしい。
- ・少子化問題等が挙げられているが、高齢者も暖かい安定した生活ができるよう努力してほしい。

## 平成29年度 生徒・学生と県議会議員との意見交換会の実施状況について

### I 総括

#### 1 実施校

生徒・学生と県議会議員との意見交換会は、平成27年度の試行を踏まえて、28年度から本格実施しているところであり、29年度は12校で実施した。議員は正副議長、広報・広聴委員を中心に各校4～5人が出席し、延べ人数で59人、実人数では44議員中34人が意見交換会に出席した。

学校名	開催月日	出席議員数	参加者数	開催場所
山形電波工業高等学校	5月11日(木)	5人	11人	議会棟
山形市立商業高等学校	6月8日(木)	5人	20人	議会棟
羽黒高等学校	7月12日(水)	5人	10人	学校(鶴岡市)
白鷹高等専修学校	7月18日(火)	5人	9人	学校(白鷹町)
県立左沢高等学校	10月30日(月)	5人	8人	学校(大江町)
東北公益文科大学	11月6日(月)	5人	14人	学校(酒田市)
県立山形養護学校	11月21日(火)	5人	9人	学校(山形市)
山形大学	11月21日(火)	5人	14人	学校(山形市)
鶴岡工業高等専門学校	11月30日(木)	5人	14人	学校(鶴岡市)
東北文教大学	12月1日(金)	4人	15人	学校(山形市)
山形城北高等学校	12月14日(木)	5人	19人	議会棟
県立山形工業高等学校	12月25日(月)	5人	25人	学校(山形市)
12校		59人	168人	
◆校種別内訳	高等学校6校 特別支援学校1校 大学3校 高等専門学校1校 専修学校1校			
◆地域別内訳	村山8校 置賜1校 庄内3校			
◆開催場所別内訳	議会棟3校 学校9校			

## 2 意見交換の概要

意見交換会のテーマである「若者の政治参加」だけでなく、議会・議員に関することや県の施策、県に対する要望に関することについても、意見交換がなされている。また、参加生徒によるプレゼンテーションが行われ、そのプレゼンテーションのテーマについて意見交換がなされたものもある。

### 【意見交換の項目（主なもの）】

#### （１）若者の政治参加について

- ・選挙権年齢の引下げに伴う若年層の政治参加意識の変化及びその発揚について
- ・高齢者比率の高い社会状況下で、若者の意見を政策に反映させる手法について
- ・SNSやインターネットを活用した若者の投票率を高めるための取組みについて
- ・政治家を志す若者を支援する取組みについて など

#### （２）議会・議員に関することについて

- ・議会における話し合いの雰囲気について
- ・議員の仕事のやりがいや魅力について
- ・議員自身の学生時代における政治への関心について
- ・議員になろうと決意した動機やきっかけについて など

#### （３）県の施策に関することについて

- ・人口が減少する中で、街を活性化させていくための取組みについて
- ・介護や保育分野の人手不足を解消するための労働環境の改善について
- ・若者の地域定着を促すための県の施策について
- ・県外や海外からの観光客を増やすための取組みについて など

#### （４）県に対する要望について

- ・歩行者が安心して通行できる道路の整備について
- ・通学時の奥羽本線車両の混雑解消について
- ・校舎内の適切な冷暖房の稼動について
- ・職業教育を専門とする高等専修学校の位置付けと支援について など

### 3 アンケート結果の概要

#### (1) 意見交換会を実施しての感想

「議員と話ことができ、貴重な時間になった」、「県議会を身近にするという目的は十分に達成されていると思う」など、意見交換について好意的な意見が多い。また、「政治について学ぶことは、今の私達に必要であることがわかった」、「これからの町をより良く導いてくれそうな人を真剣に選び、投票したい」、「気さくに話しかけてもらい、議員のイメージが変わった」などの意見があり、意見交換会が政治や選挙への関心を高めたり、県議会を身近なものと感じてもらおう契機となっていることがうかがわれる。

#### 【感想（主なもの）】

##### ① 議員との意見交換について

- ・ 普段、話することができない議員と話ことができ、貴重な時間になった。機会があればまた話したい。
- ・ 山形県がどうなっているか、また、こうなってほしいなどの意見交換ができて良かった。
- ・ 議員の活動内容を知ることができ、また、政治に対する関心も高まった。
- ・ 前にも一度は参加したが、参加する度に議員を身近に感じることができており、県議会を身近にするという目的は十分に達成されていると思う。 など

##### ② 政治や選挙への関心について

- ・ 選挙権年齢の引下げにより若者の投票率が上がって良い方向に向かっていると思っていたが、現状を知り、もう少し若者に政治に関心を持ってほしいと思った。
- ・ 政治は難しく、あまり関わりがないことだと思っていたが、話を聞いて、政治について学ぶことは、今の私達に必要であることがわかった。
- ・ 私が18歳になったら、これからの町をより良く導いてくれそうな人を真剣に選び、投票したい。
- ・ 来年から選挙権を持つようになるので、今日のことを生かして積極的に政治に参加していきたい。 など

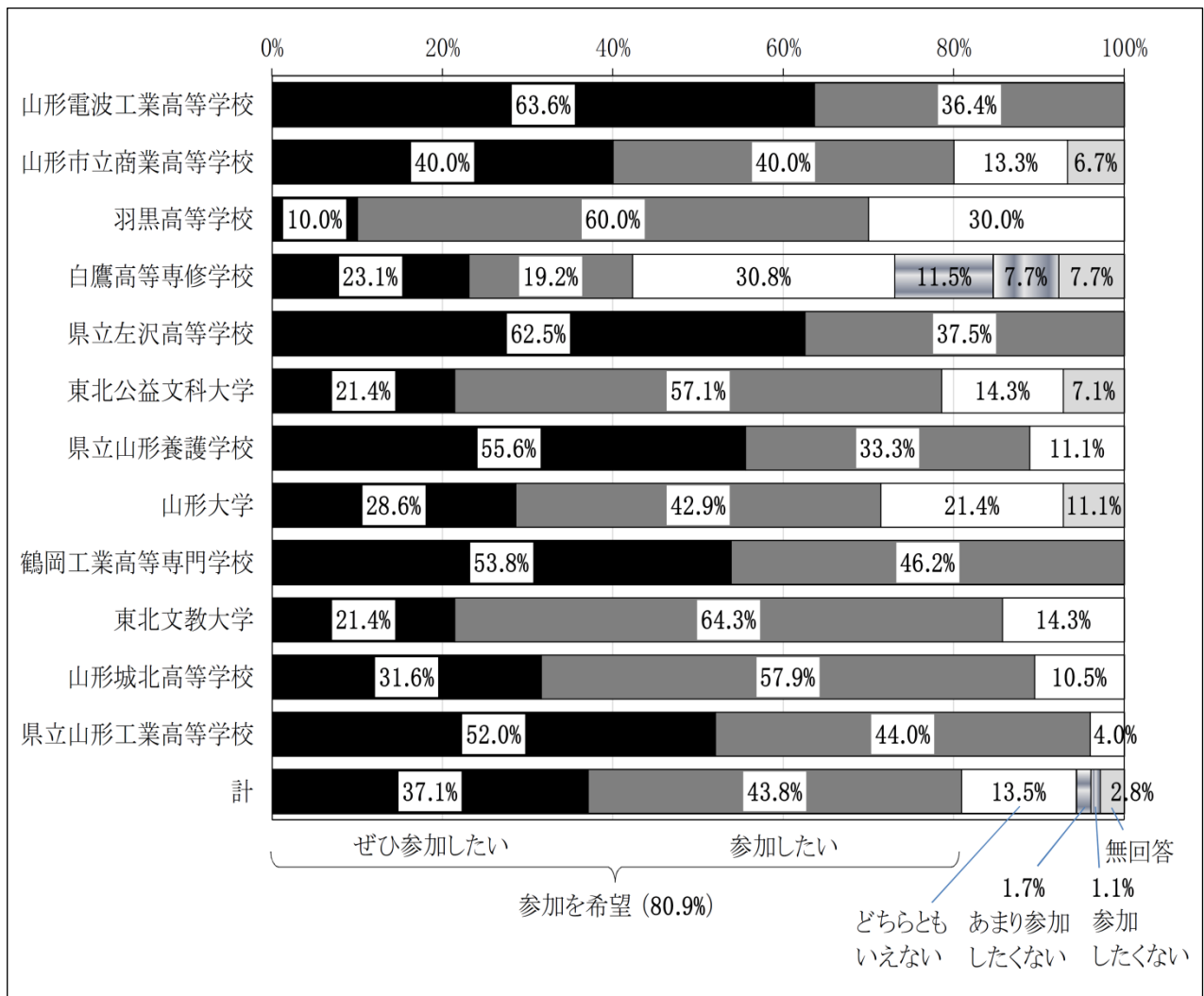
##### ③ 議員に対する印象について

- ・ これまで議員と接する場がなく、少し怖い方々だと思っていたが、気さくに話しかけてもらい、皆さん優しい方ばかりで議員のイメージが変わった。
- ・ 議員は山形県をより良くするために考えていると感じた。また、若者に対して非常に期待していることも分かった。
- ・ 議員も県民の一人であり、私達と考えている疑問等と一緒に、それらについて代表して議論していると理解できた。
- ・ 議員から経験や事例なども交えて答えてもらい、とてもためになった。 など



## (2) 今後の参加希望について

「ぜひ参加したい」と「参加したい」を合わせた、今後も参加を希望する生徒は、12校の計で8割を超えており、前記(1)と同様、意見交換会が好意的に受け止められている。



(注1) この設問は、「ぜひ参加したい」、「参加したい」、「どちらともいえない」、「あまり参加したくない」、「参加したくない」の5つから選択するもの。

(注2) 白鷹高等専修学校については、傍聴した生徒の回答を含む。

### (3) 生徒・学生等が政治への関心を高めたり、県議会を身近に感じたりするための方法等の提案

意見交換会を拡充する意見のほか、SNSやマスコミを活用した情報提供、実際に体験する模擬選挙や模擬議会の実施、学校の授業での学習などの意見が見られる。

若者の声を議員に届けたり、直接議員の声を聞く機会としての意見交換会は、政治への関心を高めたり、県議会を身近に感じたりするための方法として有効であると考えられていることがうかがえる。また、SNS等を活用した情報提供については、若者世代ならではの視点といえる。

#### 【提案（主なもの）】

##### ① 意見交換会の拡充について

- ・意見交換会の規模を大きくし、学生の声をもっと議員に届ける機会を増やすとよい。
- ・情報を様々な方法を用いて提供することも必要だが、今回のように直接議員の声を聞く機会をもっと増やすとよい。
- ・学校の取組みの一環として、意見交換会を実施するとよい。                      など

##### ② SNSやマスコミを活用した情報提供について

- ・議員の仕事をSNSやブログのような形で公開するとよい。
- ・政治について、新聞やニュースでもっと取り上げるとよい。
- ・若者が見るインターネットやテレビなどで宣伝するとよい。                      など

##### ③ 模擬選挙等の実施について

- ・実際に若者に模擬選挙をさせて、政治参加の重要性を伝えていくべき。
- ・議員を含めた模擬議会を行い、実際の政治問題を考える機会があるとよい。
- ・希望者を集めて生徒・学生向けに講演を試みてはどうか。                      など

##### ④ 学校の授業での学習が大切であることについて

- ・政治について、学校の授業で分かりやすく、楽しく学べる工夫をするとよい。
- ・学校などへの出張授業などが有効である。また、小学生など幼い頃から模擬投票や見学など政治への関心を積み上げていくことが大切である。
- ・中学校などの課外授業などで県議会を取り上げてはどうか。                      など

##### ⑤ 若者向けの政策等の拡充について

- ・若い人が関心を持つような政治（「関わらざるを得ない」でもいいと思う。）で、少しでも関心を集めるような工夫をするとよい。
- ・若年層の生活に関する案を出し、若者の意見を出してもらおう。それを機に政治への関心を少しでも多くの人に持ってもらう。
- ・インターネット投票を進めるべき。                      など

## II 学校ごとの実施状況

### 1 山形電波工業高等学校

#### (1) 概要

開催日時	平成29年5月11日（木）14時00分～15時30分
開催場所	山形県議会南棟2階 第1会議室
出席議員	星川純一、渋間佳寿美、小松伸也、大内理加、高橋啓介
参加生徒	生徒会執行部11人
意見交換の内容	<ul style="list-style-type: none"><li>・議員個人に関心を持てるような情報の発信について</li><li>・県民から寄せられる意見や要望への対応の仕方について</li><li>・県議会議員になった理由について</li><li>・進学等で県外に出た人の県内回帰に向けた取組みについて</li><li>・技術系の生徒に期待することについて</li><li>・非正規労働者が正社員になるための支援について</li><li>・技術系の後継者不足に対する取組みについて</li><li>・選挙権年齢が18歳以上に引き下げられたことについて</li><li>・投票行動に向けた候補者や政策に係る情報の入手方法について</li></ul>

#### (2) アンケート結果

##### ① 意見交換会を実施しての感想（主なもの）

- ・選挙権年齢の引下げにより若者の投票率が上がって良い方向に向かっていると思っていたが、現状を知り、もう少し若者に政治に関心を持ってほしいと思った。
- ・議員がいろいろな方向から山形を見て、解決策を見つけ、県内をより良くしていこうとしていることが分かった。
- ・とても勉強になり、貴重な体験になった。議場や会議室など、普段では入れない場所にも案内してもらい本当に良かった。
- ・奨学金の話聞いて、県外に出ても山形県に戻ってこようと思った。
- ・普段話することができない議員と話ことができ、貴重な時間になった。機会があればまた話をしたい。 など

##### ② 生徒・学生等が政治への関心を高めたり、県議会を身近に感じたりするための方法等の提案（主なもの）

- ・このような会をもっと開催するとよい。
- ・政治について、学生の利用が多いツイッターで発言するとよい。
- ・県議会の取組みをもっとアピールしたり、学生などにも分かりやすく説明し、身近なこととして認識してもらえようとするとうい。
- ・学校に直接行き、生徒達に政治について話をするとよい。
- ・議員自身のことをもっと伝えるとよい。 など

## 2 山形市立商業高等学校

### (1) 概要

開催日時	平成29年6月8日(木) 15時30分～16時50分
開催場所	山形県議会南棟3階 第2委員会室
出席議員	志田英紀、青木彰榮、柴田正人、森谷仙一郎、小野幸作
参加生徒	産業調査部20人
意見交換の内容	
<ul style="list-style-type: none"><li>・経済の活性化に向けた人口増大計画について</li><li>・子育てに関する高校生の認識について</li><li>・高校生による地元企業の情報発信について</li><li>・老舗企業のノウハウを生かした起業について</li><li>・雇用の創出につながる企業誘致の状況について</li><li>・出産や子育てをした方の職場復帰に対する支援について</li><li>・選挙権年齢が18歳以上に引き下げられたことについて</li><li>・投票を通じた若者の意見の政治への反映について</li><li>・投票行動に向けた候補者や政策に係る情報の入手方法について</li></ul>	

### (2) アンケート結果

#### ① 意見交換会に参加しての感想(主なもの)

- ・これまで議員の方と接する場がなく、少し怖い方々だと思っていたが、気さくに話しかけてもらい、皆さん優しい方ばかりで、議員のイメージが変わった。また、議場などにも入らせてもらい楽しかった。
- ・高校生の意見を直接言える場があり良かった。政治が身近に感じた。
- ・選挙はまだ自分には関係のないことだと考えていたが、今回の意見交換会でその考えが変わった。
- ・学生にも政治は関係してくることを知ってもらいたいと思った。
- ・プレゼンテーションや話をしっかり聞いてもらい、とても話しやすい雰囲気楽しかった。このような県民と寄り添う場を作っていくのも大切だと感じた。 など

#### ② 生徒・学生等が県議会を身近に感じたりするための方法等の提案

- ・このような意見交換会により、今まで県議会について何も考えなかった人が少し考えようになったり、身近に感じるようになるのではないかと。
- ・意見交換会を他の高校生とも行った方がよい。
- ・大人が学生に説明するだけでなく、学生同士で政治への関心について話し合う場があるとよい。
- ・投票行動の重要性や何を基準に議員を選べばよいかについて、もっと若者に教えるとよい。

### 3 羽黒高等学校

#### (1) 概要

開催日時	平成29年7月12日（水）15時30分～16時30分
開催場所	羽黒高等学校 2階教室
出席議員	星川純一、能登淳一、矢吹栄修、渡辺ゆり子、坂本貴美雄
参加生徒	生徒会役員10人
意見交換の内容	
<ul style="list-style-type: none"><li>・ テレビ等を通して見た政治の印象と若者の政治離れについて</li><li>・ 議員としての立ち居振る舞いや言動で気を付けていることについて</li><li>・ 投票に当たり候補者の情報を得る方法について</li><li>・ 会議や委員会において質問や提案を行う事項の選定について</li><li>・ 議員が条例を提案する経緯と県民の意見の取り入れ方について</li><li>・ 18歳未満の生徒を対象とした投票に関する学習について</li><li>・ 山形県の重点施策について</li><li>・ 投票行動に向けた候補者や政策に係る情報の入手方法について</li></ul>	

#### (2) アンケート結果

##### ① 意見交換会を実施しての感想（主なもの）

- ・ 政治は難しく、あまり関わりがないことだと思っていたが、話を聞いて、政治について学ぶことは、今の私達に必要であることがわかった。
- ・ この意見交換会を機に政治のことを調べ、自分のためになるようもっと身に付けていきたい。ぜひ、会議の様子を見に行きたい。
- ・ 今回の意見交換会を通して、もう少し政治について考えてみたいと思った。
- ・ いつもは疑問に思うだけのことを直接聞くことができたのは良かった。今後もこのような機会を設けてほしい。
- ・ 質問に対して詳しく答えてもらい、理解できた。
- ・ 議員と意見を交わすことがなかったので、良い経験になった。 など

##### ② 生徒・学生等が政治への関心を高めたり、県議会を身近に感じたりするための方法等の提案（主なもの）

- ・ 若い人が関心を持つような政治（「関わらざるを得ない」でもいいと思う。）で、少しでも関心を集めるような工夫をするとよい。
- ・ 若者層の生活に関する案を出し、若者に意見を出させ、これを機に政治への関心を少しでも多くの人に持たせてはどうか。
- ・ 若者が正当な意見を出したときに、目を通してもらいたい。
- ・ 立候補者の情報をもっと手軽に知ることができるようにするとよい。
- ・ 若者が見るインターネットやテレビなどで宣伝するとよい。 など

## 4 白鷹高等専修学校

### (1) 概要

開催日時	平成29年7月18日(火) 13時30分～14時30分
開催場所	白鷹高等専修学校 体育館
出席議員	志田英紀、松田敏男、青柳安展、島津良平、奥山誠治
参加生徒	生徒会役員9人
意見交換の内容	
<ul style="list-style-type: none"><li>・職業教育を専門とする高等専修学校の位置付けと支援について</li><li>・暮らしやすい県にするために議員が大切に考えていることについて</li><li>・県外や海外からの観光客を増やすための取組みについて</li><li>・高校生の県に対する協力として期待することについて</li><li>・議会における議案の審査などに費やす時間について</li><li>・中学校の統廃合にも影響する少子高齢化の対策について</li><li>・歩行者が安心して通行できる道路の整備について</li><li>・若者の選挙や政治に対する関心を高めるための取組みについて</li><li>・選挙時の街頭演説や集会等における発言で大切にしていることについて</li><li>・投票行動に向けた候補者や政策に係る情報の入手方法について</li></ul>	

### (2) アンケート結果

#### ① 意見交換会を実施しての感想(主なもの)

- ・山形県がどうなっているか、また、こうなってほしいなどの話を聞いたり、発言することができて良かった。
- ・若者が選挙で投票することの重要性について学ぶことができた。
- ・私が18歳になったら、これからの町をより良く導いてくれそうな人を真剣に選び、投票したい。
- ・選挙権が18歳以上に引き下げられ、若者が世の中のことをよく知り、選挙に積極的に参加していけるようになってほしいと思う。
- ・この機会をもらい、自分の町について考えることができた。それぞれの町が自信を持って良いところを発信していくこと、地元に戻りたいと思える町にすることが活気ある町づくりにつながると感じた。 など

#### ② 生徒・学生等が政治への関心を高めたり、県議会を身近に感じたりするための方法等の提案(主なもの)

- ・意見交換会のような機会を増やすとよい。
- ・学校の授業で政治について分かりやすく、楽しく学べる工夫をするとよい。
- ・政治について学校で理解を深め、家族と話すとうい。
- ・回覧板に写真や絵などを載せるとよい。
- ・通学路や学生がよく通る場所などに看板やポスターなどを設置するとよい。

など

## 5 県立左沢高等学校

### (1) 概要

開催日時	平成29年10月30日（月）16時00分～17時00分
開催場所	県立左沢高等学校 会議室
出席議員	星川純一、青柳安展、矢吹栄修、渡辺ゆり子、金澤忠一
参加生徒	生徒会8人
意見交換の内容 ・ 高等教育無償化、奨学金制度など進学支援に係る県の方針等及び取組状況について ・ 本県の基盤を担う農林大学校進学者への奨学金制度について ・ 若者の流出や高齢化に対する県の対策について ・ 選挙権年齢引下げに伴う若年層の政治参加意識の変化及びその発揚について ・ 議員活動を行う中で、県民から受ける要望の内容について ・ 県議会議員の日常の活動について ・ 県議会議員としての喜びや苦勞等について ・ 投票行動に向けた候補者や政策に係る情報の入手方法について	

### (2) アンケート結果

#### ① 意見交換会を実施しての感想（主なもの）

- ・ 若者の政治参加の意欲がないことが分かったので、政治に参加してより良い世の中にしたと感じた。
- ・ 議員が自らの意見を話してもらい、楽しかった。
- ・ 議員の仕事など、授業では学べない話が聞けて良かった。
- ・ 議員の活動内容を知ることができ、また、政治に対する関心も高まった。
- ・ 選挙は自分で考えて投票した方がよいのだと感じた。 など

#### ② 生徒・学生等が政治への関心を高めたり、県議会を身近に感じたりするための方法等の提案（主なもの）

- ・ 今後も、このような活動を続けるとよい。
- ・ 議員の仕事をSNSやブログのような形で公開するとよい。
- ・ 学生のための政治に関する情報を分かりやすくしてSNSなどに載せるとよい。
- ・ こういった機会を増やしたり、SNSなどでのアピールや若者が集まる場所での講演会を行うとよい。
- ・ もう少し政治家と体験できることをした方がよい。 など

## 6 東北公益文科大学

### (1) 概要

開催日時	平成29年11月6日(月) 15時00分～16時00分
開催場所	東北公益文科大学酒田キャンパス 教育研究棟104教室
出席議員	青木彰榮、佐藤聡、能登淳一、田澤伸一、広谷五郎左エ門
参加生徒	学生14人
意見交換の内容	
<ul style="list-style-type: none"><li>・若い世代の人口が少ない中、高齢者を重視する政策となっていることについて</li><li>・高齢者比率の高い社会状況下で、若者の意見を政策に反映させる手法について</li><li>・少子高齢化が相当進んだ後で、選挙権年齢引下げが行われた背景について</li><li>・先の衆議院議員総選挙で本県の投票率が全国一位となった要因について</li><li>・政治に対する実感が薄い学生層に対して政治参加意識を啓発する手法について</li><li>・投票を行わないことのデメリットについて</li><li>・山形に転入してきた若者に議員の政策等を分かりやすくPRする仕組みについて</li><li>・若い議員が少ない原因として、有権者から信頼を得られないことが挙げられることについて</li><li>・投票行動に向けた候補者や政策を調査した経験について</li></ul>	

### (2) アンケート結果

#### ① 意見交換会を実施しての感想(主なもの)

- ・投票行動は自分の意見を反映させるために大切なことであると感じた。
- ・議員の意見はなかなか聞くことができないので、様々な場所で実施されるとさらに政治に興味が出るのではないかと思った。
- ・参加してみると身近に感じるようになり、選挙にも行こうと思うようになるので、このような活動を継続してほしい。
- ・前にも一度参加したことがあるが、参加する度に議員を身近に感じることでできおり、県議会を身近にするという目的が十分達成されていると思う。
- ・多くのことを聞くことができたが、もっと多くのことを聞きたいので、定期開催やもう少し長い時間で開催してほしい。 など

#### ② 生徒・学生等が政治への関心を高めたり、県議会を身近に感じたりするための方法等の提案(主なもの)

- ・若者との接点を持つために意見交換の機会を増やしたり、SNSなどで議員の活動を載せるとよい。
- ・学校で政治の話をするのは難しいが、生徒のうちから政治家の話聞く機会があれば政治を身近に感じることができるのではないか。
- ・意見交換だけでなく、実体験できる場があるとよい。
- ・学校の授業での機会を増やすとよいのではないか。
- ・テレビで一人ずつPRするなど、政治家の政策を目にする機会を増やすとよい。

など



## 7 県立山形養護学校

### (1) 概要

開催日時	平成29年11月21日（火）11時25分～12時10分
開催場所	県立山形養護学校 会議室
出席議員	柴田正人、金子敏明、小松伸也、島津良平、阿部信矢
参加生徒	生徒9人
意見交換の内容（主なもの） <ul style="list-style-type: none"><li>・通学時の奥羽本線車両の混雑解消について</li><li>・喫煙及び野焼きの規制について</li><li>・県議会議員の仕事のやりがいや魅力について</li><li>・県の歳出予算のうち、最も大きな割合を占めるものについて</li><li>・校舎内の適切な冷暖房の稼動について</li><li>・山形県は観光人所（イベント、建物等）が少ないと感じていることについて</li><li>・少子高齢化の解決方法について</li><li>・投票行動に向けた候補者や政策に係る情報の入手方法について</li></ul>	

### (2) アンケート結果

#### ① 意見交換会を実施しての感想（主なもの）

- ・実際に議員と意見交換したことで、政治や世の中のことに関心が深まった。もう少し意見交換の時間があれば良かった。
- ・考えてきた意見に議員が皆で答えてくれ、本当に楽しんで意見交換していることが伝わってきた。
- ・良い機会だった。パワーポイントが上手くまとまっていて、わかりやすかった。
- ・きちんと自分の意見を言うことができ、良いやりとりができた。
- ・議員が真剣に回答してくれた。自分の述べた要望について、早く実施してほしいと思った。 など

#### ② 生徒・学生等が政治への関心を高めたり、県議会を身近に感じたりするための方法等の提案

- ・この意見交換会をもっと増やすとよい。
- ・今回のような意見交換会の場をもっとあってもよい。
- ・実際に若者に模擬選挙をさせて、政治参加の重要性を伝えていくべき。
- ・実際に選挙に参加するとよい。
- ・選挙や政治について、漫画で分かるようにするとよい。

## 8 山形大学

### (1) 概要

開催日時	平成29年11月21日（火）16時20分～17時20分
開催場所	山形大学小白川キャンパス 人文学部1号館（山形市）
出席議員	松田敏男、矢吹栄修、島津良平、舩山現人、佐藤藤彌
参加生徒	学生14人
意見交換の内容	
<ul style="list-style-type: none"><li>・主権者教育や若者の政治参加を高めるための取組みについて</li><li>・二元代表制における議会の具体的な役割について</li><li>・議会発の条例である「やまがた県産酒による乾杯を推進する条例」を制定した目的や効果について</li><li>・人口減少が進む中で交通の利便性向上の考え方について</li><li>・外国人観光客を山形県に呼び込むための方策について</li><li>・SNSやインターネットを活用した若者の投票率を高めるための取組みについて</li><li>・政治家を志す若者を支援するための取組みについて</li><li>・他県出身者等への山形県の魅力をPRする取組みについて</li><li>・若者が議員になろうとしない原因として供託金などが挙げられることについて</li></ul>	

### (2) アンケート結果

#### ① 意見交換会を実施しての感想（主なもの）

- ・政治を身近に感じる機会は少ないので、良い経験となった。
- ・普段疑問に思っていた点を直接聞くことができ非常に有意義だった。
- ・これからの政治、その参加について考える機会になり、参加して良かったと思う。
- ・一方的に話を聞くのではなく、議員一人一人の意見を聞くことができ面白かった。
- ・丁寧に回答してもらい嬉しかったが、議論が広がりそうだったので、もっと時間があると良かった。 など

#### ② 生徒・学生等が政治への関心を高めたり、県議会を身近に感じたりするための方法等の提案（主なもの）

- ・こういった意見交換会をもっと行くと良いと思う。
- ・政治は別世界のように感じるので、そのような壁を取り除くためにインターネットを活用し、情報配信していくとよい。
- ・小さい頃から興味を持てる環境が必要。
- ・県議会の傍聴を講義に取り入れるとよい。
- ・ネット投票を進めるべき。 など

## 9 鶴岡工業高等専門学校

### (1) 概要

開催日時	平成29年11月30日（木）16時00分～17時05分
開催場所	鶴岡工業高等専門学校 大会議室
出席議員	星川純一、能登淳一、渡辺ゆり子、森田廣、鈴木正法
参加学生	学生会役員14人
意見交換の内容	
<ul style="list-style-type: none"><li>・若者の要望やアイデアを議員に伝える手段について</li><li>・議員自身の学生時代における政治への関心について</li><li>・若者に政治参加を呼び掛ける広報紙について</li><li>・選挙権年齢の引下げに伴い、重視される政策に変化があるかどうかについて</li><li>・若い世代の議員当選者が少ない要因として、人生経験の多寡から生じる信頼度の違いによるところが大きいかどうかについて</li><li>・県議会における地域の商店街の衰退を食い止めるための議論の状況及び学生等による協力の可能性について</li><li>・若者の地域定着を促すための県の施策について</li><li>・本県のマスコットをより印象的なデザインとすることについて</li><li>・卒業後の進路としての地元定着または都市部での就職の志望状況について</li><li>・海外留学に熱心な校風の中で、留学で学んだことや意識の変化について</li><li>・投票行動に向けた候補者や政策に係る情報の入手方法について</li></ul>	

### (2) アンケート結果

#### ① 意見交換会を実施しての感想（主なもの）

- ・議員に対し、自分の主張を直接届けることができる良い機会だと感じた。
- ・学生の疑問に対して、今後どう取り組んでいくかを明確に示してもらい、大変有意義な意見交換になったと感じる。
- ・意見交換会を通じ、山形県の政治について考える時間が増えた。今後の投票行動に向けて色々と調べていきたいと思う。
- ・議員の人柄を知ることができ、また堅苦しくもなく楽しい意見交換ができた。
- ・意見交換の時間がもっと長ければよいと感じた。 など

#### ② 生徒・学生等が政治への関心を高めたり、県議会を身近に感じたりするための方法等の提案（主なもの）

- ・意見交換会の規模を大きくし、学生の声を議員に届ける機会を増やすとよい。
- ・SNSを活用し、またテレビでの若者向けPRを増やしてはどうか。
- ・議員と学生が、比較的簡単で自分たちに身近な課題の改善方法を一緒に考え、実施する活動に取り組んではどうか。
- ・希望者を集めて生徒・学生向けに講演をしてみてもよい。
- ・もっと気軽にインターネット投票できるようにするとよい。 など

## 10 東北文教大学

### (1) 概要

開催日時	平成29年12月1日（金）16時00分～17時25分
開催場所	東北文教大学 826教室
出席議員	星川純一、佐藤昇、小松伸也、野川政文
参加生徒	学生15人
意見交換の内容 ・ 議員になろうと決意した動機やきっかけについて ・ 政治参加を促すため、議員から若者へ伝えたい思いについて ・ 若者の低投票率の原因分析とその対応について ・ 育児中の議員にも働きやすい環境の構築について ・ 全国学力テストの結果を踏まえた本県の今後の教育方針について ・ 住民の要望が実現されていく過程及び実現までに要する期間について ・ 介護や保育分野の人手不足を解消するための労働環境の改善について ・ 投票行動に向けて候補者や政策を調査する手段について など	

### (2) アンケート結果

#### ① 意見交換会を実施しての感想（主なもの）

- ・ 質問に対して丁寧に答えてもらい身近に感じることができ、議会に対して関心が高まった。
- ・ 今回の意見交換会をもっと多くの学生が聞くことができればよいと思った。
- ・ 議員は山形県をより良くするために考えていると感じた。それと同時に若者に対して非常に期待をしていることも分かった。期待に応えられるよう努力していかなければならないと思った。
- ・ 議員の意見を直接聞くことができ、テレビやホームページ等から考えを知るよりも印象深く残った。
- ・ 議員を目指したきっかけや、意見交換でお互いの考えを聞くことができて良かったと思う。 など

#### ② 生徒・学生等が政治への関心を高めたり、県議会を身近に感じたりするための方法等の提案（主なもの）

- ・ より多くの学生がこのような意見交換会に参加できる機会をつくるとよい。また、SNSを使って関心を高めることも効果的である。
- ・ 情報を様々な方法を用いて提供することも必要だが、今回のように直接議員の声を聞く機会をもっと増やすとよい。
- ・ 学校などへの出張授業などが有効。また、生徒・学生というより、小学生など幼い頃から模擬投票や見学など政治への関心を積み上げていくことが大切。
- ・ 議員を含めた模擬議会を行い、実際の政治問題を考えるような機会があるとよい。
- ・ 若者が日常で意見を言いやすい環境を作るとよい。 など

## 1 1 山形城北高等学校

### (1) 概要

開催日時	平成29年12月14日（木）16時00分～17時00分
開催場所	山形県議会南棟3階 第2委員会室
出席議員	星川純一、柴田正人、渋間佳寿美、阿部昇司、後藤源
参加学生	生徒会役員等19人
意見交換の内容 ・人口が減少する中で、街を活性化させていくための取組みについて ・若者に政治への関心を持ってもらうための取組みについて ・同一県内でも市町村によって子どもの医療費助成に差がある理由について ・冬季間に道路工事が集中する原因及びその解決策について ・投票行動に向けた候補者や政策に係る情報の入手方法について	

### (2) アンケート結果

#### ① 意見交換会を実施しての感想（主なもの）

- ・今後の選挙やニュース等に興味を持ち、政治に関わりたいと考えるようになった。
- ・普段話す機会のない議員と話すことで、議員も県民の一人であり、私たちと考えている疑問等は一緒で、それらについて代表して議論していると理解できた。
- ・意見や質問に対し、大変わかりやすく理由まで説明いただき、大変ためになった。
- ・身近な問題に関する話をたくさん聞くことができ、理解を深めることができた。
- ・教えていただいたことを生徒会等で活かしていきたいと思う。 など

#### ② 生徒・学生等が政治への関心を高めたり、県議会を身近に感じたりするための方法等の提案

- ・このような意見交換会を頻繁に行うとよい。
- ・スマートフォンやSNSなど、若者が頻繁に触れる媒体を活用するとよい。
- ・テレビでもっと放送していれば、政治への関心が高まるのではないかと思う。
- ・わかりやすく親しみの持てるホームページ作りを心掛けてはどうか。
- ・街頭演説を聞いていると、どの候補も同じ主張をしており、またそれが実行されていない状況があるように思う。そのような状況が若者の選挙離れの原因の一つとも考えるので、当選したら主張の実現に努めてもらいたいと思う。

## 12 県立山形工業高等学校

### (1) 概要

開催日時	平成29年12月25日（月）10時00分～11時00分
開催場所	県立山形工業高等学校 大視聴覚室
出席議員	志田英紀、青木彰榮、佐藤聡、加賀正和、鈴木孝
参加生徒	生徒会役員等25人
意見交換の内容（主なもの） <ul style="list-style-type: none"><li>・ 議会での話し合いがまとまらず、議事が進まない場合の対応について</li><li>・ 高校生のときの生徒会活動の経験について</li><li>・ 議会における話し合いの雰囲気について</li><li>・ 議長をされていて良かったと感じていることや議長が果たす役割について</li><li>・ 紙媒体の議案書のデジタル化に向けた動きについて</li><li>・ 議事の進行における議長と副議長との連携について</li><li>・ 県議会で審議している内容について</li><li>・ 生徒の意見を請願として議会に届ける方法について</li><li>・ 県民の代表として意見を述べるときに大切にしていることについて</li><li>・ 失敗の経験から得た高校生へのアドバイスについて</li><li>・ 選挙権を得たときに選挙に行くかどうかについて</li><li>・ 山形工業高等学校生徒会の来年に向けた取組みについて</li><li>・ 慶應義塾大学先端生命科学研究所における高校生等を対象とした研究生受入れの取組みについて</li></ul>	

### (2) アンケート結果

#### ① 意見交換会を実施しての感想（主なもの）

- ・ 議員は遠い存在だと思っていたが、話をしてすごく身近な存在になった。
- ・ 議会の進め方や雰囲気を学ぶことができた。これからの生徒会や委員会に生かしていきたい。
- ・ 議会でも多数決で議決をしていることや請願することができることなど、多くのことを知ることができた。
- ・ 議員から経験や事例などを交えて答えてもらい、とてもためになった。
- ・ 来年から選挙権を持つようになるので、今日のことを生かして積極的に政治に参加していきたい。 など

#### ② 生徒・学生等が政治への関心を高めたり、県議会を身近に感じたりするための方法等の提案（主なもの）

- ・ 県議会の仕事をSNS等に掲載するとよい。
- ・ 学校の取組みの一環として、意見交換会を実施すればよい。
- ・ 学校の授業の中での講話や模擬選挙などを実施してはどうか。
- ・ 中学校などの課外授業などで県議会を取り上げてはどうか。
- ・ 政治について新聞やニュースでもっと取り上げるとよい。 など

## 「平成31年度 政府の施策等に対する提案」の進め方について

### 1 概要

平成31年度の予算編成を見据え、政府が施策として進めていくべき事項について、県内の取組み等も踏まえながら、県の総意として取りまとめ提案を行っていく。

### 2 実施主体

山形県開発推進協議会  
(山形県、県議会、市町村、市町村議会、産業経済団体等で構成)

### 3 スケジュール（予定）

会 議 等	時 期	内 容
議会運営委員会	4月下旬	「平成31年度 政府の施策等に対する提案」の推進日程（詳細）及び提案概要について説明
県議会への意見照会	4月下旬	執行部原案確定後、県議会へ文書で意見照会 ※5月中旬：執行部へ回答
山形県開発推進協議会 （書面手続き）	5月下旬	「平成31年度 政府の施策等に対する提案」の決定
山形県開発推進懇談会	6月上旬	県関係国会議員との意見交換
政府に対する提案活動	6月上旬	知事と議長と一緒に主要な府省大臣・副大臣・大臣政務官に対して提案活動を実施
反映状況の検証	10月	政府の概算要求への反映状況の検証
	12月	政府予算案への反映状況の検証
	2月	政府予算案等を踏まえた最終整理